

Ⅲ. 分担研究報告 4

**厚生労働行政推進調査事業費補助金
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業**
**サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築に関する研究
放射線診断学的見地からの検討**

研究分担者 田嶋 強 国立国際医療研究センター病院放射線診断科

§ サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の諸問題に関する研究

一 放射線診断学的見地からの検討

研究分担者 田嶋 強 国立国際医療研究センター病院放射線診断科 診療科長

研究要旨:本研究の目的はサリドマイド胎芽症患者における健康上の問題点を放射線診断学的見地から明らかにすることである。これまで、CT、MRI を用いて全身の画像所見を解析し、身体内部異常の放射線学的所見と頻度について考察を加えて報告してきた。今年度は、健康診断を継続することにより、CT、骨塩定量に関する身体内部異常の評価を継続実施する予定であった。しかしながら、今年度の検診参加者は、コロナ禍の影響が大きく1名のみであった。来年度以降、全国的な感染症の鎮静化が得られた際には、これまで行ってきた解析結果の検証を行う予定である。

A. 研究目的

本研究の目的はサリドマイド胎芽症患者における健康上の問題点を放射線診断学的見地から明らかにすることである。これまで、CT、MRI、一般撮影を用いて全身の画像所見を解析し、身体内部異常の放射線学的所見と頻度について考察を加えて報告してきた。

今年度は、健康診断を継続することにより、CT に関する身体内部異常の評価を継続実施することを目的とする。

B. 研究方法

・本年度も胎芽症者の健診を実施した。

2021/2/19 に検診を実施した。健診受診者は1名(男性1名)。受診者のプロフィールを表1に示す。

・実施された健診における放射線関連検査の内容はCTである。

・実施されたCT検査の部位は、頭部・頸部・椎体・四肢・筋、体幹部、脂肪測定(内臓脂肪)であった。

表 1. 受診者のプロフィール

症例番号	性別	年齢(歳)	障害の内訳
1	M	61	聴力障害

C. 研究結果

以下に結果を要約する。各検査の具体的な結果は以下のごとくである。

1) 側頭骨 CT

複数の異常が見られた(左側耳小骨形成不全、左側外耳道閉鎖、左側慢性中耳炎、両側耳介形成異常)。

2) 頭部 CT

異常なし。

3) 脊椎 CT

塊椎(C6-T1)、変形性頸椎症、変形性胸椎症、腰椎椎弓形成不全、黄色靱帯骨化症、潜在性二分脊椎

4) 体幹部 CT

以下の異常を認めた:心拡大

5) 脂肪測定(内臓脂肪)

内臓脂肪は正常であった。

D. 考察

今回の検診は、コロナ禍の影響で縮小を余儀なくされた。今回の受診者においては、様々な異常が検出されたものの、幸い、前回検査から変化はなく、治療を要するものもなかった。

コロナ禍、とくに緊急事態宣言下の現状においては、サリドマイド胎芽症者にとっては、コロナ感染はとくに注意すべき状況であり、検診を契機とする感染は避けるべきである。胎芽症者にとっては、生活習慣病の罹患や加齢性変化が、今後の生活の質の維持において重要となっていくため、感染症の鎮静化を待って、フォローアップ検査を行っていくことが大変重要と思われる。

E. 研究発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

- 1.特許取得
- 2.実用新案登録
- 3.その他

いずれも該当なし